

政策名	3夢のふくらむ港		担当課	企画調整室 環境担当課長	連携担当課
基本施策名	04うるおいと魅力のある港湾空間の形成				
個別施策名	12快適な港湾空間を形成する		連絡先	052-654-7819	(港営部)港営課
事務事業名	11名古屋港景観基本計画の推進				

1 PLAN(目的・概要)

目的	名古屋港とその周辺地域の景観形成を、ロマンと活気を基本理念に総合的、計画的に推進し、魅力ある港湾景観の形成を図ります。	事業期間	平成5年度～継続
概要	関係行政機関や事業者と連携して、景観アドバイザー制度の活用などにより、各種建築計画等と名古屋港景観基本計画及び名古屋港カラー計画との整合性を図り、魅力ある港湾景観の形成を推進します。	根拠法令・要綱等	
		実施義務	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無

2 DO(実施)

21年度の実施内容 【及び22年度の実施予定】	H21年度： 景観アドバイザー制度について14件の相談を受け、うち完成物件8件について全8件の整合性を確認しました。 カラー計画との整合性について、87件の審査を行いました。							
活動指標	年度	19	20	21	22	中間目標	24	備考(指標の算定方法など)
景観アドバイザー制度の相談件数	単位	目標	15	15	15	15	15	景観アドバイザー制度の活用状況を、相談件数で算出します。
	件	実績	20	14	14			
カラー計画との整合性審査件数	単位	目標	-	-	-	-	-	臨港地区内の申請・届出等から、カラー計画マニュアルとの整合性を審査した件数を指標とします。
	件	実績	135	117	87			
事業費	千円	201	172	160	208			
人員 正規職員	人	0.40	0.40	1.00	0.47			
	嘱託職員	人						
人件費相当額	千円	3,474	3,508	8,582	4,126			
事業費・人件費の合計	千円	3,675	3,680	8,742	4,334			

3 CHECK(検証)

決算ベース(H21は見込) ← 予算ベース

成果指標	年度	19	20	21	22	中間目標	24	備考(指標の算定方法など)	
景観基本計画との整合性	単位	目標	-	-	100	100	100	指導・助言の対象となった案件の景観基本計画との整合性(整合された物件数÷相談件数のうちの完成物件数)を指標とします。	
	%	実績	-	-	100				
	達成率(%)			100.0					
審査案件の整合比率	単位	目標	-	-	100	100	100		
	%	実績	-	-	100				
	達成率(%)			100.0					
観点	課題の有無	現状の「見える化」						その他特記事項	
必要性	組合関与の必要性	有・無	・景観アドバイザー制度の活用を薦めるなどして、「名古屋港景観基本計画」にもとづくカラー計画との整合性を図り、魅力ある港湾景観の形成を推進することができていますので、必要な事業であります。						
	目的・水準の妥当性	有・無	・民間事業者等からの自主的な申し込みが少ないことから、臨港地区内の申請・届出等から規模の大きな物件を抽出し民間事業者等に働きかけることにより、アドバイザー制度の更なる活用を図ります。						
有効性	成果の達成度	有・無	・景観アドバイザー制度のフォローアップを行い、カラー計画との整合性の確認を行います。						
	内容の妥当性	有・無							
効率性	実施主体の妥当性	有・無							
	受益者負担の適正性	有・無							
	経済性	有・無							

4 ACTION(取組)

事務事業の方向性	取組の方向性(「継続」「延伸」事業のみ)				判断の理由	
<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 延伸 <input type="checkbox"/> 22年度で終了 <input type="checkbox"/> 休廃止	成果	拡大	維持	縮小	カラー計画に基づく審査案件の実現に努力しつつ、効果的方法によりコスト削減を図るため。	
		○				
			縮小	維持		
				拡大		
			コスト			
今後の取組内容 ・改善策 ・スケジュールの建て直し等	審査案件の実現に向けた対策について検討を行います。					